

動物

の

診察室

から

○ 49 ○

このコラムの27回目で書いた、ラブラドルレトリバーのブラッド君（フーちゃん）の治療は続いています。フーちゃんは昨年4月に全身のリンパが腫れるリンパ腫になり、すぐに1週間に1回の抗がん剤の治療を始めました。

フーちゃんの治療への反応はよく、半年間の抗がん剤の注射が終わるころには、リンパは小さくなり寛解することができました。

フーちゃんの飼いの主のお姉さんは、フーちゃんが薬になる方法があるのなら、どんなことでもしてあげたいと希望されています。全身のリンパ腫

胞がみつきり、そして、前足の腫れはどんどん大きくなり痛みも出てきました。抗がん剤が効かなくなってきたのです。

フーちゃんの飼いの主のお姉さんは、フーちゃん

が薬になる方法があるのなら、どんなことでもしてあげたいと希望されています。全身のリンパ腫



放射線治療に行く前日のフーちゃん

痛み緩和へ上京し治療

がんとの闘い 2

ました。しかし、その後のしばらくして、リンパ腫の再発があり、再度抗がん剤の治療が開始されたのでした。

フーちゃんは、食欲はあるのですが今年に入り、リンパ節だけではなく左前足の先端が腫れてきました。検査の結果、

前足の部分にも、がん細胞

に対して放射線治療は行わないのですが、局所の緩和だけを目的には行うことがありません。ただ新

お姉さんは、足の痛みが取れる可能性があるのなら、放射線治療を受け

たいと希望されました。早速、大学に予約を入れて3週間後に放射線治療を行うことになりました。

お姉さんは、足の痛みが取れる可能性があるのなら、放射線治療を受け

先や、目の周りにも腫れが出てきました。

毎日包帯交換に来るフーちゃんに、お姉さんは「フーちゃん、えらいな

あ、がんはり」と優しく声をかけて頭をなでてあげます。そして、放射線治療の当日、お姉さんはフーちゃんを連れて朝早く新潟を出発しました。今までの経過や画像は事前に放射線科の先生に送ってありましたが、詳細な説明と、お姉さん

たちの不安さも考え、私の病院の主治医も大学へ行きました。

初めは左前足だけの予定でしたが、四肢にも広がっていたため、すべての

の足に照射を行ってほしい、治療時間は、照射部位を決めるCT検査も含めて3時間に及びました。でも、照射した部位の腫れはみるみる引いて、痛みも取れてきたのです。ただ、全身状態は悪く、抗がん剤投与とあと2回の放射線治療が予定されています

フーちゃんは、優しいお姉さんに励まされて、1年間、がんと闘ってきました。フーちゃん、お姉さん、がんばりましょうね！

